

地域需要創造型等起業・創業促進補助金採択者事例

佐藤仁志(さとう ひとし) 氏 【地域需要創造型起業・創業】(山形県)

地産地消をテーマに旬な県産・地産の食材を中心に、安全・安心な料理を提供する地域密着型飲食店の経営

【事業テーマ】 旬な県産・地産の食材を生かした飲食店の経営

【設立日】 平成25年7月31日 【創業場所】 山形県米沢市

【創業を志した経緯・きっかけはなんですか？】

子供の頃から料理が好きで、将来、飲食店を経営したいと考えてきた。居酒屋に勤務しながら、調理、業務の流れ、店舗の立上げ等も経験した。その後、経験した実務と理論のギャップを埋めるべく大学へ社会人入学し、経営を学び独立を目指していたところ、居抜きの好物件を確保する機会に恵まれた。

また資金面で相談していた米沢信用金庫の担当者の適切なアドバイスで、本補助金も活用することができ、スムーズに開業を進めることができた。

【現時点での事業展望を教えてください！】

山形県南部の置賜地域で収穫される特産の食材(そば粉、雪菜、豆もやし、うこぎ等)を活用、安心・安全にこだわる顧客に四季に合わせたメニューを開発(そば粉のガレット等)するなど、旬の食材や、お勧めの食べ方を提案しながら地域に密着した飲食店を目指す。

また、立地特性から女性層をターゲットとした店舗運営をはかるため、女性客は優先して掘りごたつテーブルに案内、また、そば粉のスイーツ(ソバロア)をサービスで提供、飲物もミルク系果実酒のレパートリーを増やしていく。さらに来店の楽しさを増すため、従業員が製作したパーストーンを店内で展示販売するなどお洒落感覚ある店づくりに心がけていきたい。

【創業補助金活用のために支援を受けた機関】

(認定支援機関) 米沢信用金庫中田支店

(支援内容) 事業計画作成、融資、取引先紹介、運営アドバイス、定期的なモニタリング等の実施

